

国際ビジネスキャリア専攻 モデルカリキュラム

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30					● English for International Communication I	
2時限 10:40-12:10	● Reading/Writing I	● Reading/Writing I	● Reading/Writing I	● English for International Communication I	● 時事英語 I	
3時限 13:10-14:40	● English for International Communication I	◆ 基礎演習		● Reading/Writing I	■ 国際経営論 I	
4時限 14:50-16:20	経済学 I		● English for International Communication I	▲ 情報リテラシー演習 I		
5時限 16:30-18:00						

必修・選択必修 ●=英語科目 ▲=特別演習科目 ■=学科・専攻指定研究科目 ◆=導入科目

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30		◆アントレプレナーシップ論				
2時限 10:40-12:10	▲スペイン語 I (a)	● English for International Communication III (IBC)	◆ Leadership Communication I		▲ スペイン語 I (a)	
3時限 13:10-14:40		国際ビジネス法 I	国際ビジネス・コミュニケーション論 I	● English for International Communication III (IBC)		
4時限 14:50-16:20	● ビジネス英語 II			◆ マーケティングリサーチ	国際マーケティング論 I	
5時限 16:30-18:00				◆ 企業行動論 I		

■ 企業インターンシップ II

必修・選択必修 ●=英語科目 ▲=選択外国語科目 ■=特別演習科目 ◆=研究科目

▶1年次

入学すると、まずは本学の特色である、豊富な外国人教員による英語科目群で英語能力の基礎を形成します。並行して「情報リテラシー演習」及び「基礎演習」に加え「キャリア研究基礎」(後期)を履修し、本専攻のコンセプトを身につけます。

ビジネスに特化した専攻ですが、国際ビジネス分野を徹底探求するか、あるいは履修分野に幅広さを持たせるかの方向性を自ら定め、2年次に研究コースとして選択します。

調査の基本「ビジネスリサーチ演習」、ビジネスの土台となる「簿記会計」の開講も本専攻の特色です。国際コミュニケーション学科では、2年次に「TOEIC®演習(IC)」を履修し、TOEIC®の一定基準以上の点数を取得することが卒業要件のひとつとなっています。

▶3年次

本専攻の後半は専門であるビジネス科目を、ケーススタディーなどを中心に、科目ごとに日本語及び英語の両環境で探求します。文献からも、そして現役ビジネスパーソンからも日・英両語で貪欲に学びとります。

2～3年次の休暇期間に2度(国内・海外)の「企業インターンシップ」を実習します。ビジネス学習の成果を現場で発揮し、新たな発見と経験を教室授業に持ち帰ります。多くの必修科目を設置した本専攻のカリキュラムですが、選択外国語科目も必修になっています。